

終末期高齢者の在宅での看取りの実現に向けた看護に関する研究

看護学科

植田 春美

●連絡先

TEL : 054-202-2942

E-Mail : edarumi@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

終末期高齢者, 在宅での看取り, 退院支援



我が国の高齢者の約半数は、自宅で最期を迎えたいと回答しています。一方で、2021年における65歳以上の者の死亡場所は66%が病院であり、自宅での死亡は16%にすぎません。自らが希望した場所で最期を迎えることは、望ましい死を迎える重要な要素とされています。しかし、実際には多くの高齢者が病院で死亡しており、希望と現実の乖離が生じています。そこで、高齢者の看取りの場を病院から自宅へと移行させる支援が必要だと考えています。そのためには、医療機関に入院となった終末期高齢者に対して、医療者が高齢者本人の意思を確認し、在宅での看取りを望むのならば、その実現に向けて支援することが必要です。この入院医療機関の支援において、看護の果たす役割は大きいと考え、在宅での看取りに向けた看護支援についての研究をすすめています。

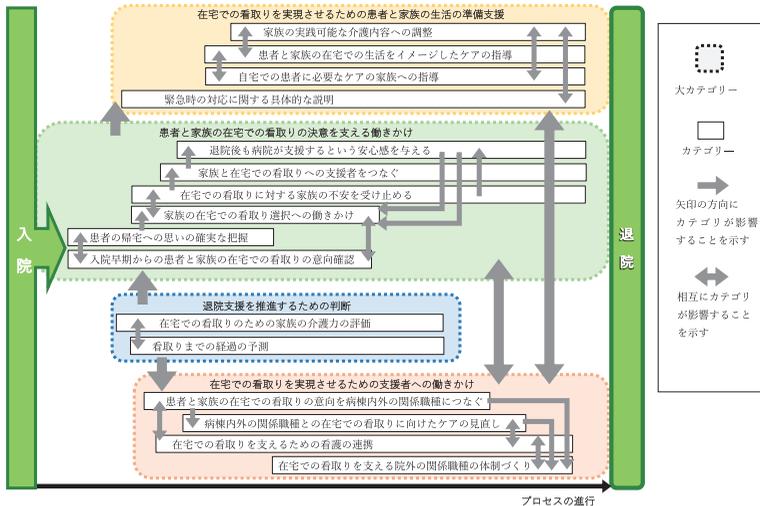


図1 終末期高齢者の在宅での看取りを目的とした病棟看護師の退院支援のプロセス

アピールポイント

誰もが最期まで自分らしく生きることを支える看護について、一緒に考えていきましょう。